

展示委員会

展示委員会は、JIRA の中核である展示事業において、事務局と連携の上、画像医療システム産業の発展に貢献する展示会の企画を立案し、円滑な展示会運営を推進する。

2022 年度の活動としては、初めてのハイブリッド開催であった ITEM2021 のレビューとして、JRC 学会参加者へのヒアリングと ITEM2021 出展社へのアンケートを実施し、核医学学術総会併設展示会も含めて、出展社・来場者に対して各々が参加し易く、且つ、より有用な展示会となることを目指して以下の施策を実行していく。

- ◆ 従来の出展募集、出展要項、展示規程を WEB 展示開催による見直しを含め、展示会の着実な運営を行う。
- ◆ REAL 展示に関しては、新型コロナ感染防止対策を実施し、来場者・出展社の安全を図る。
- ◆ 2021 年で開始した来場者、出展社の利便性を高める来場者情報の完全なデジタル化による取得サービスの改善を進める。
- ◆ ニューノーマル時代となり、ITEM 会場へ足を運べない方への対応策として、Web サイトを活用したバーチャル展示会やサテライト会場を提供し、展示・セミナーなど出展社と来場者の相互コミュニケーション機会を高める新たな構想を図る。
- ◆ 海外企業、または AI をはじめとする IT 系スタートアップ企業などに対し ITEM 参画を誘致し、ITEM 来場者へ新たなカテゴリーの情報を提供する。
- ◆ 企画立案を強化するために、JIRA 会員企業より展示委員会への参画を募り、IT 関連の知識も携えた人材育成を図りたい。

1. 展示会の運営及び企画・準備

(1) 国際医用画像総合展：ITEM2022 開催運営

- 全体方針
 - REAL と WEB を一体化させ、最大効果が得られる WEB 企画を立案し、展示会の着実な運営を行う。
- ITEM2022-REAL (パシフィコ横浜展示) : 4 月 15 日～17 日
 - ◆ ITEM2021-REAL で実施したコロナ感染症対策と利便性向上の継続実施
 - ・ 事前登録を継続し、受付の 3 密を回避する。
 - ・ 参加者の安全確保の徹底
 - (消毒液設置・サーモグラフィー設置、ソーシャルディスタンスの確保等)
 - ・ 入退場管理システムを導入し、会場内人数をリアルタイムで把握する。
 - ・ ITEM 会場へ来場された学会登録者・ITEM 登録者情報の出展各社への提供。
 - (入場カードをバーコード方式からQRコードに変更し、読取精度・安定性の向上を図る)
 - ◆ JIRA 新規ステージ企画
 - ・ 特定テーマプレゼン発表
 - テーマ: AI、業務効率化(DX,タスクシフト)、放射線管理、COVID-19 関連
 - ・ 企業プロモーション発表
 - 出展企業の製品紹介など
 - * 各ステージ発表は、展示会場内休憩所でもリアルタイムにて上映
 - * 発表コンテンツは、統合 WEB サイトでオンデマンド配信し、ITEM 終了後に各企業に配布
- ITEM2022 統合 WEB サイト: 3 月 15 日～5 月 18 日
 - ◆ 統合 WEB サイト内容
 - ・ ITEM2022-REAL 展示開催前、期間中、開催後を開催期間とし、REAL 展示と統合 WEB サイトを連携させて、集客効果のある企画とする。
 - ・ REAL 展示開催前施策
 - ティザー広告、参加登録、展示社・出展品リスト(検索機能含む)、JIRA ステージ企画の発表スケジュール
 - ・ REAL 展示開催後施策
 - 特定テーマ、企業プロモーションのステージプレゼンのオンデマンド配信

◆ JRC 学会との連携

- ・学会プログラム製品技術リンクの対象拡大と操作性改善を図り、学会 WEB から統合 WEB サイトへの誘導を図る。

- (2) 第 62 回日本核医学学会学術総会/第 42 回日本核医学技術学会総会学術大会併設展示会並びに第 13 回世界核医学会（京都国際会館、2022 年 9 月 7～11 日）の開催、運営
- (3) 国際医用画像総合展：ITEM2023 の企画準備
- (4) 第 63 回日本核医学学会学術総会/第 43 回日本核医学技術学会総会学術大会併設展示会企画準備

2. 展示関連の課題について、解決・改善を図る。

- ◆ ニューノーマル時代における REAL 展示と WEB の概念を見直し、ハイブリッド展示の効果を実感できる企画の提供を進める。
- ◆ REAL、WEB 各展示会実施に向け、展示会の運営要項を見直し、出展各社が公平、且つ効果が見込める展示会となるように努める。
- ◆ JRC 合同実行委員会に対し、より良い展示会開催を目指して提言を行う。
- ◆ 中長期的には、今後、JRC、核医学学会がオンライン開催に変化した場合を想定し、ITEM・核医学会併設展示会も WEB 展示単独開催となった場合に、集客力のある具体的内容を検討する。また、ITEM、核展示会の展示会に限らず、全ての会員企業に対して、年間を通じた有益なプロモーション施策を JIRA 事務局と創出し、提供の検討に取り組む。

上記、JRC2022 にてハイブリッド展示会を実施し、その後の課題について、展示委員会で改善を図り、参加企業にとって、より有益な展示会となるよう、新たな展示会施策を考案する。